

福知山市 note のシリーズ企画 「わたしが思う #いがいと福知山」スタート！

クリエイティブ業界で活躍する福知山市ゆかりのコピーライターの2記事を公開！

「街中と自然の距離こそ魅力」

「こんなにうまい卵が、まったくふつうの値段で売られている」など

新たな目線で福知山市の魅力を紹介



京都府福知山市は、ブランドメッセージ「いがいと！福知山」をより広く知っていただき、福知山の「いがいと！」な魅力を発信するために、市公式「noteふくちやま」で、ゆかりの方に「わたしが思う #いがいと福知山」をテーマに寄稿いただくシリーズ企画をスタートしました。最初の寄稿者は、東京と福知山の二拠点生活を送りながらコピーライターなどの仕事をする公庄仁さん、続いて4年前に東京から移住されたコピーライター・CMプランナーの佐藤舞葉さんです。「街中と自然の距離こそ魅力」「こんなにうまい卵が、まったくふつうの値段で売られているのです。福知山、恐ろしいまち…」など、市外出身の2人ならではの目線で市の魅力が描かれています。

2022年12月14日にはシリーズのイントロダクション【「いがいと！福知山」ってなんだ？】を公開。ブランドメッセージが誕生するまでの経緯や、込められた想いなどをnote担当の市役所職員が綴りました。

これらの記事を読み、皆さんが福知山の隠れた魅力を見つけて、シェアするきっかけになればと思います。

○noteふくちやま【京都府福知山市公式】 <https://fukuchiyama-city.note.jp/>

記事概要&執筆者プロフィール

●「いがいと！福知山」ってなんだ？

公開日：2022年12月14日(水)

執筆者：福知山市役所 note 担当職員

<https://fukuchiyama-city.note.jp/n/n4539d5649334>



●「東京・青山と京都・福知山を往復して思うこと。」「わたしが思う #いがいと福知山 vol.1」

公開日：2022年12月19日(月)

執筆者：公庄仁さん

<https://fukuchiyama-city.note.jp/n/n01084517d20e>

●「いがいと！卵どすえ！」「わたしが思う #いがいと福知山 vol.2」

公開日：2022年12月23日(金)

執筆者：佐藤舞葉さん

➤ ^{くじょう ひとし} **公庄 仁さん** (コピーライターなど)



主な仕事に、累計400万部超えのベストセラー「ざんねんないきもの」シリーズなど。最近では広告だけでなく、スタートアップ企業のビジョン作成や300年以上続く酒造のブランディングなど、幅広いプロジェクトに携わる。

➤ ^{さとう まいは} **佐藤 舞葉さん** (コピーライター/CMプランナー)



東京都出身、2019年より福知山市在住。au 三太郎シリーズ「みんながみんな英雄。」で日本最高峰の広告コピー賞「TCC賞」グランプリなど多数受賞。福知山に暮らしながらコカ・コーラ「この瞬間が、私。」、大阪ガス、東京マラソン、UHA 味覚糖、LINE ギフト、プラスなど様々な広告に携わる。福知山市民が登場する市の企画「福知山の変」のクリエイティブディレクターを務める。

福知山市公式 note 概要

- アカウント名 note ふくちやま【京都府福知山市公式】 <https://fukuchiyama-city.note.jp/>
- 運用期間 2022年9月9日(金)～ (“フク”の日)
- 発信内容
 - 福知山のヒト・モノ・コトに関するストーリーと想い
 - 福知山市役所が取り組むことや、その背景にある想い
 - 福知山での暮らしがちょっと楽しくなる情報 など
- 目的 福知山市の暮らしや想いをより深く知ってもらい、福知山ファンの拡大を目指す



note とは

note はクリエイターが文章や画像、音声、動画を投稿して、コミュニケーションやビジネスに活用できるメディアプラットフォームです。note では比較的長い文章も読まれやすいため、紙媒体や他の SNS では入りきらなかった「ストーリー」や「想い」を伝えるコンテンツを届けることができます。会員でなくても誰でも読めて、他の SNS との親和性も高いため、併用することによって拡散力が上がり、相乗効果が期待できます。

【本件に関するお問い合わせ先】
 福知山市役所 秘書広報課 吉良、西邑
 TEL : 0773-24-7090 FAX : 0773-24-7023
 E-mail : hisyo@city.fukuchiyama.lg.jp